

## 5 年齢別常用求人・求職・就職状況

常用（含パート）

5年4月

	新規求人数		月間有効求人数		新規求職 申込件数	月間有効 求職者数	就職件数	新規求人倍率		有効求人倍率	
	就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等				就職機会	求人数均等	就職機会	求人数均等
	積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式				積み上げ方式	配分方式	積み上げ方式	配分方式
年齢計	64,473	64,473	193,680	193,680	34,718	167,216	6,351	1.86	1.86	1.16	1.16
19歳以下	668	6,277	1,810	19,010	275	1,248	85	2.43	22.83	1.45	15.23
20～24歳	6,313	7,243	17,614	21,546	2,569	12,073	393	2.46	2.82	1.46	1.78
25～29歳	9,597	7,196	28,135	21,436	3,907	19,297	485	2.46	1.84	1.46	1.11
30～34歳	7,077	7,024	22,470	20,967	2,930	15,653	430	2.42	2.40	1.44	1.34
35～39歳	5,982	6,467	19,191	19,593	2,569	13,747	454	2.33	2.52	1.40	1.43
40～44歳	5,104	6,043	17,145	18,267	2,407	13,372	535	2.12	2.51	1.28	1.37
45～49歳	5,928	5,637	19,280	17,004	3,080	16,634	713	1.92	1.83	1.16	1.02
50～54歳	6,481	5,605	21,328	16,913	3,457	18,843	860	1.87	1.62	1.13	0.90
55～59歳	5,968	5,585	18,801	16,859	3,183	16,642	750	1.87	1.75	1.13	1.01
60～64歳	4,735	4,116	13,477	12,237	3,630	16,800	736	1.30	1.13	0.80	0.73
65歳以上	6,620	3,280	14,429	9,848	6,711	22,907	910	0.99	0.49	0.63	0.43

  

年齢計	64,473	64,473	193,680	193,680	34,718	167,216	6,351	1.86	1.86	1.16	1.16
24歳以下	6,981	13,520	19,424	40,556	2,844	13,321	478	2.45	4.75	1.46	3.04
25～34歳	16,674	14,220	50,605	42,403	6,837	34,950	915	2.44	2.08	1.45	1.21
35～44歳	11,086	12,510	36,336	37,860	4,976	27,119	989	2.23	2.51	1.34	1.40
45～54歳	12,409	11,242	40,608	33,917	6,537	35,477	1,573	1.90	1.72	1.14	0.96
55歳以上	17,323	12,981	46,707	38,944	13,524	56,349	2,396	1.28	0.96	0.83	0.69

  

年齢計	64,473	64,473	193,680	193,680	34,718	167,216	6,351	1.86	1.86	1.16	1.16
44歳以下	34,741	40,250	106,365	120,819	14,657	75,390	2,382	2.37	2.75	1.41	1.60
45歳以上	29,732	24,223	87,315	72,861	20,061	91,826	3,969	1.48	1.21	0.95	0.79

（注） 年齢別の求人倍率及び求人数は、次の2つの方法により集計を行っている。

「就職機会積み上げ方式」

個々の求人について、求人数を対象となる年齢階級〔5歳刻みの11階級〕の総月間有効求職者数で除して当該求人に係る求職者1人当たりの就職機会を算定し、全有効求人についてこの就職機会を足し上げることにより、年齢別有効求人倍率を算出する。年齢別月間有効求人数は、年齢別有効求人倍率に年齢別月間有効求職者数を乗じて算出する。なお、新規求人倍率及び新規求人数も同様の方法により算出する。（この際、月間有効求職者数の代わりに、新規求職申込件数を用いる。）

平成18年7月分より公表。

「求人数均等配分方式」

求人の対象年齢の種類（対象年齢がどの年齢階級〔5歳刻みの11階級〕にまたがるかにより66通りに分類）ごとに、求人数を対象年齢に相当する各年齢階級に均等に配分して、年齢別の月間有効求人数を算出し、これを年齢別の月間有効求職者数で除して、年齢別有効求人倍率を算出する。新規求人倍率及び新規求人数についても同様の方法により算出する。